

第3次連隊練成訓練

(第1中隊・第2中隊・重迫撃砲中隊 訓練検閲)



対機甲戦闘(第1中隊)



安全化(重迫撃砲中隊)



徒步行進(第2中隊)



突撃支援射撃(重迫撃砲中隊)



攻撃前進(第2中隊)



攻撃前進(第1中隊)



敵情監視(第4偵察戦闘大隊)



対機甲戦闘(第4中隊)



射撃準備(第2中隊)



支援射撃(第1中隊)



故障車両(想定)の回収(第3普通科直接支援中隊)

連隊は、令和3年6月23日(水)から26日(土)まで、日出生台演習場及び十文字原演習場において第1中隊、第2中隊及び重迫撃砲中隊の訓練検閲を実施した。

本訓練検閲は、師団検閲の枠組みで実施され第4偵察戦闘大隊、第4高射特科大隊、第4施設大隊、第4通信大隊、第4後方支援連隊第2整備大隊第3普通科直接支援中隊の一部の配属を受け、攻撃における普通科中隊及び重迫撃砲中隊の基本的行動及び隊員の基礎動作を検して、その進歩向上を促す事を目的としている。

23日(水)別府駐屯地グラウンドで行われた訓練開始式では、統裁官である第41普通科連隊長中村英昭1等陸佐は、訓示の中で「任務必成」を要望事項に掲げた。

同日の夕刻、各中隊は十文字原演習場から集結地に向け約30kmの徒步行進を開始した。行進間、突然の豪雨に見舞われながらも計画に基づき滞りなく集結地まで行進した。

24日(木)日出生台演習場の集結地に進出した各中隊は同地を速やかに安全化し占領、じ後の攻撃準備を行った。

25日(金)午前2時30分、各中隊は敵警戒部隊の駆逐の為、行動を開始した。第1中隊は主要道路沿いを前進中、敵の機動戦闘車を発見、速やかに射撃し大破させた。また第1小隊が突入の際には、第2小隊と連携し同地を確保した。第2中隊においては攻撃前進中、逐次発見した敵情を各隊員と共有し砲迫火力により敵の部隊に多大な損耗を与えながら前進した。その間、重迫撃砲中隊は、第1線部隊からの火力要求に速やかに応じ連隊火力戦闘部隊として最大限の火力を発揮し連隊の攻撃に貢献した。各受閲部隊は相互に連携し目標を奪取し、全隊員が基礎動作を確実にしながら与えられた任務を達成した。

今後も、各中隊は更なる練度向上を目指し日々訓練に邁進していく。

第1中隊・第2中隊・重迫撃砲中隊 訓練検閲

優秀隊員紹介

第1中隊

- 中隊本部 3等陸曹 梅野憲治郎
- 訓練陸曹としての功績
- 第1小隊 3等陸曹 瀬川 京介
- 01ATM手としての功績
- 第2小隊 2等陸曹 三浦雄一郎
- 分隊長としての功績
- 第3小隊 陸士長 古江英太郎
- 小銃手としての功績
- 対戦車小隊 陸士長 小柳 俊介
- 通信手としての功績
- 迫撃砲小隊 1等陸士 儀間 拓海
- 副砲手としての功績
- 狙撃班 陸士長 稲福 龍平
- 狙撃手としての功績

第2中隊

- 中隊本部 3等陸曹 市丸 泰平
- 通信手としての功績
- 第1小隊 2等陸曹 山田 雅昭
- 分隊長としての功績
- 第2小隊 陸士長 青柳 翔真
- LAM手としての功績
- 第3小隊 2等陸曹 宮嶋 勝也
- 分隊長としての功績
- 対戦車小隊 陸士長 白井 瑞樹
- 弾薬手としての功績
- 迫撃砲小隊 3等陸曹 佐伯 一也
- 分隊長としての功績
- 狙撃班 3等陸曹 大井 真樹
- 狙撃手としての功績

重迫撃砲中隊

- 中隊本部 3等陸曹 中島 弘貴
- 射撃陸曹としての功績
- 前進観測班 2等陸曹 一ノ瀬収平
- 前進観測幹部としての功績
- 第1小隊 3等陸曹 鈴木 泰文
- 射撃陸曹としての功績
- 第2小隊 3等陸曹 土谷 巨人
- 基準分隊長としての功績
- 第3小隊 陸士長 尾下 修平
- 副砲手としての功績

平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

第42期レンジャー養成訓練



開始式



体力向上運動(胴回し)



体力向上運動(腕立て伏せ)



セーラー



執銃走(10マイル走)



生存自活(蛇の調理法)



水路潜入



地図判読

陸上自衛隊において、「最も過酷」とされるレンジャー養成訓練が令和3年4月12日(月)から約3ヶ月間、別府駐屯地等において行われている。

本訓練は、いかなる困難な状況も克服して任務を完遂し得るレンジャー隊員としての、高い技術力や不撓不屈の精神力を修得する事を目的としている。

レンジャー学生は、第41連隊から12名、西部方面特科隊、第4偵察戦闘大隊、第3高射特科群、第5地对艦ミサイル連隊から各1名の計16名から成り訓練に励んでいる。

教育の前半は基礎訓練として主にレンジャー隊員としての技術の修得や資質を涵養するための地図判読、山地潜入、空路潜入、水路潜入、生存自活、体力向上運動等を行い、後半は、行動訓練として各種実任務を想定した偵察、襲撃、潜伏等の課目が編成されている。

基礎訓練の佳境である執銃走(10マイル走)では雨の中、駐屯地隊員の熱い応援を受け、学生達は力を振り絞り10マイルをがむしゃらに走り抜いて行った。

次号においてはレンジャー学生の行動訓練と晴れ舞台であるレンジャー帰還式の様子を紹介する。



着隊



入隊式



徒歩行進訓練

自衛官候補生課程教育



戦闘訓練



修了式

連隊は、令和3年4月11日(日)から6月18日(金)までの約3ヶ月間、自衛官候補生課程教育を実施した。

入隊式では、執行官である第41普通科連隊長 中村英昭 1等陸佐が「公人たれ」「同期の絆の強化」の2点を要望し、自衛官候補生55名はその要望を3ヶ月で具現化した。

入隊式を皮切りに、自衛官候補生達が基本教練、行進訓練、射撃訓練、戦闘訓練など自衛官としての基礎となる訓練を行い体力・知識・技能を修得させる事が目的であり、自衛官候補生達は、各教育を通じてお互いを助け合い、励まし合い、苦楽を共にし同期の絆を深めていった。

教育の集大成である戦闘訓練(修了検定)では雨の降りしきる中、泥まみれになりながらも隊員たちはお互いに声を掛け合い目標を奪取していった。

修了検定を終えて、塚本候補生は、「入隊してから日々体力錬成や各訓練を通じて自信はあったがとももキツク大変だった。しかし、同期と力を合わせてなんとか目標を奪取出来た時は嬉しかった。」と感想を述べた。

その後候補生達も、令和3年6月18日(金)別府駐屯地において修了式を迎えることとなった。

修了式では自衛官候補生を代表し近藤匠真 候補生が教育修了の申告を行い廣寄隆朗 候補生が修了証書を受け取った。

今後、候補生達は全国の各駐屯地に異動し、約3ヶ月間の専門職種の教育「新隊員特技課程教育」を受ける。これから彼らの活躍を別府駐屯地から応援している。

成績優秀者紹介



自衛官候補生 近藤 匠真

連隊長賞



自衛官候補生 上田 博幸



自衛官候補生 廣寄 隆朗

教育隊長賞

第140期陸曹候補生選抜2次試験

桜が咲き誇る中、令和3年4月1日(木)から4月2日(金)の二日間、別府駐屯地内において、第140期陸曹候補生選抜2次試験が実施された。陸曹候補生選抜試験とは、陸士長から3等陸曹へ昇任する為の試験であり、1次試験(学科試験)を突破した31名の隊員達が2次試験に挑んだ。2次試験は、術科試験(小部隊の指揮・指導)と体力検定及び口述試験(面接)の3科目が実施され、受験生達は、2次試験合格に向けて課業外や休日を利用して日々、練成を重ねてきた。



体力検定(3000m走)



術科試験(指揮者と分隊員)

特に術科試験は、分隊員に対して気迫のこもった号令をかけて指揮をしていたのは印象的だった。受験生全員が晴れて合格し3等陸曹に昇任できることを願っている。

連隊小部隊対抗訓練

連隊は、令和3年6月7日(月)から6月9日(水)までの間、十文字原演習場において連隊小部隊対抗訓練を実施した。

本訓練は、小部隊指揮官の実員を使用した指揮能力の向上及び隊員の近接戦闘能力の向上を目的とし、各普通科中隊の2個小隊と、本部管理中隊及び重迫撃砲中隊は各1個小隊の計10個小隊が青部隊と赤部隊に分かれて対抗方式で戦うものであり各隊員はレーザー交戦装置、交戦用訓練装置(通称バトラ)を身体や小銃及び機関銃に装着し実戦さながらの緊迫した中での訓練となった。小隊長は付与された任務に基づき部下隊員に命令下達を行い企図の徹底を図った。また、各隊員は、命令に基づき相互連携しその任務に邁進していった。本訓練では小銃の部、機関銃の部で優秀な成績を残したものが表彰された。

優秀隊員

小銃の部

- 本部管理中隊 3等陸曹 溝上大介
- 第1中隊 3等陸曹 原龍之介
- 第4中隊 3等陸曹 山下優也

※同成績3名で表彰

機関銃の部

- 第1中隊 3等陸曹 住吉宏明



攻撃前進



遭遇戦



遭遇戦

各中隊行事・訓練風景

本部管理中隊



アンテナ建柱



遭遇戦

第3中隊



徒步行進訓練



遭遇戦

第1中隊



火力要求



火力支援

第4中隊



小隊の指揮



防御戦闘

第2中隊



構想下達



遭遇戦

重迫撃砲中隊



砲設置



射撃準備

別府駐屯地 Twitter

更新中!!

陸上自衛隊別府駐屯地(公式)フォロー



平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

別府駐屯地業務隊

新・旧交代(ODからWhiteへ)

別府業務隊輸送班

新年度が始まったばかりの4月9日、目達原駐屯地保管課第1保管班より、目に痛い程の純白の車体に鮮やかな赤十字が描かれた新救急車を受領してきました。今までは、OD色の重厚感溢れる車両で、平成20年2月7日より13年2ヶ月間にわたり、延日数3,318日、延走行14万4,308キロメートルを走行、九州でも最後のOD色の救急車として活躍し、この間、大きな事故や故障もなく無事任務終了となりました。



通院車として任務中の救急車(新車)



無事任務を終えた救急車(OD色)

新しい救急車は、旧車の丸みを帯びた形状から、少し角張った形状となつてスマートさを感じる乗心地の良い車両となりました。公安委員会より緊急自動車届出確認書の交付を受けて、5月11日から運行を開始しました。

第404会計隊

令和3年度 小火力器射撃検定

令和3年度の小火力器射撃検定を6月7日(月)、十文字原射場で実施しました。

ここ数年射撃検定実施の際は、雨が降って霧が発生して延期になり8月の暑い時期に実施するなど天候に恵まれない状況でしたが、今年は3月の転入者に晴れ男、晴れ女がいたのではないかと思うほど最高の天気で実施することができました。

年度内に一度だけの射撃(補射になれば2・3回?)のため、また来年度定年を迎えるため最後の射撃の者や昨年度新隊員教育が終了し部隊配属後初めての射撃の者等それぞれの思いで射撃を実施しました。



射撃検定1



射撃検定2

第3普通科直接支援中隊

大隊訓練検閲に向けて

第3普通科直接支援中隊については、6月末に計画している訓練検閲に向け、徒步行進訓練を実施しました。1回目については、4月8日に16キロ行進を行い参加者全員が完了しました。

この際、行進間隔にバラつきがみられたの練成においては、行進間隔の保持を達成目標とし、迎えた5月17日の20キロ行進においては、大きなバラつきもなく、見事目標達成する事が出来ました。

次は、中隊一丸となり訓練検閲を有終の美で飾れるように頑張ります。



徒步行進訓練



徒步行進訓練

大分地方協力本部 大分地域援護センター

任期制就職補導教育支援

大分地域援護センターは、5月26日(水)に別府駐屯地援護会同に参加した。

別府駐屯地援護会同は、月1回、駐屯地各部隊の担当者等が参加し退職者の就職予定、就職状況の情報共有を図るため、実施している。今回は、コロナの状況を踏まえた就職援護の状況と令和3年度任期制合同企業説明会の予定について情報の共有を図った。

現在、大分県もコロナの影響を受けているが、隊員に提示する求人票がないという事はなく、就職援助は、順調に推移している。

大分地域援護センターは、コロナの影響下でも隊員が後顧の憂いなく職務に専念できるよう隊員に寄り添った就職援助を受け、隊員の希望に沿う再就職の援助を実施します。



別府駐屯地援護会同の様子



別府駐屯地援護会同の様子

第134地区警務隊別府派遣隊

警務隊の活動状況

警務隊は、令和3年度4月6日～15日の間、実施された春の全国交通安全運動に連携した別府駐屯地交通安全運動において、交通事故防止の啓蒙活動を実施した。

また、6月は薬物乱用防止広報期間であり、防衛省においても毎年薬物乱用防止の啓蒙活動が実施されています。

6月の別府駐屯地朝礼時、薬物犯罪の現状、薬物乱用の危険性などについて教育し未然防止を訴えた。



交通安全運動実施状況



駐屯地朝礼時における防犯講話

第304基地通信中隊 別府派遣隊

令和3年度 #2部隊訓練

令和3年5月17日(月)～5月21日(金)までの間、基地通信隊は部隊訓練(通信所防護)を実施した。前年度までにも同種訓練を行っており、資材の設置、工事についても各隊員が「基本・基礎」を意識し訓練に参加し部隊としての防護能力の向上を図ることができた。

また、隊長による法令教育にも全隊員が参加し、戦士として必要な知識についても習得することができた。



歩哨壕構築



蛇腹鉄条網構築

駐屯地

サークル クラブ 紹介



新企画として別府駐屯地のサークル・クラブを紹介していきます。
当駐屯地所属隊員は福利厚生を目的としたサークルやクラブ活動を行っており本号では「別府駐屯地銃剣道部」を紹介します。

活動内容

別府駐屯地銃剣道部の部員は現在43名が在籍しています。部員は各中隊から選抜された隊員が養成期間約2ヶ月を経て練成期間へと進み各種大会へ参加します。養成期間は特に体力の向上や基本技を中心とした稽古をしています。練成期間は、試合に向けた技や応用技などを中心に稽古をします。また養成・練成期間を通じて銃剣道の修練の目標でもある現代社会人としての人間形成に資することを目指し稽古に励んでいます。

現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としてマスクとフェイスマスクを着用しての稽古で息苦しさを感じることもありますが、心肺機能の稽古と捉えて前向きに頑張っています。

銃剣道部の最大目標は「全日本銃剣道優勝大会」の優勝です。その目標に向かってチーム一丸となって日々進進しています。

過去の各種大会成績

団体戦

令和元年度全九州銃剣道大会 **第3位**

個人戦

平成28年度 全日本選手権大会

準優勝 重迫撃砲中隊 西村 健

令和元年度 全日本選手権大会

準優勝 第2中隊 松山 昌樹



練習風景



全力選手

最先任上級曹長交代

上番 最先任上級曹長

准陸尉
衛藤 智仁



この度、最先任上級曹長に上番させていただきました。衛藤智仁 准陸尉です。諸先輩方が築き上げてこられた伝統を継承しつつ、最先任上級曹長としての主たる任務「指揮官の補佐」「准曹士の育成」を2つの大きな柱とし、同時に「部隊・隊員のため」「任務完遂のため」を常に意識して励んでいます。現在、対コロナウイルス感染症対策を実施中ではありますが「部隊・隊員のため」「任務完遂」を判断基準とし、冬がすぎれば春が必ず来ることを信じて頑張っていきます。

下番 最先任上級曹長

准陸尉
田林 克規



平成30年7月から3年間、最先任上級曹長として勤務させて頂きました。この間、連隊長をはじめ上司の皆様より様々なご指導を賜り多くのことを学び成長できたのではないかと感じております。また、曹士隊員と服務に係ること、訓練の場または課業内外問わず、たくさん話をし指導し、指導され理解してもらい今日までこれたことに大変ありがたく感じています。引き続き新最先任上級曹長のもと、この上級曹長制度の進化と発展を図るべくご協力をお願いいたします。この3年間に私に関わってくれた全ての皆様に感謝申し上げ下番の挨拶とさせて頂きます。今後、新職務において自分ができることを探求しながら努力精進していきますので、今後ともよろしくごお願い申し上げます。

4~6月 定年退官者紹介

永年にわたる勤務おつかれさまでした

〔5月27日〕 別府駐屯地業務隊

2等陸曹 久住 友幸

〔6月22日〕 第4後方支援連隊第2整備大隊第3普通科直接支援中隊

陸曹長 飯川 貴敏



別府駐屯地 Twitter

更新中!!

陸上自衛隊別府駐屯地(公式)フォロー



平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

隊内生活体験

連隊は、4月5日(月)から8日(木)にかけて大分県内の5企業からの参加者、計24名に対し隊内生活体験を実施した。

本体験は、今年度各企業の新入社員に対し自衛隊の規律や、団体行動を通じて一社会人としての協調性を養うことを目的に実施されている。



修了式



装備品展示

開始式後は、自衛隊の概要説明や別府駐屯地広報資料館を見学したその後、基本教練(敬礼、方向変換、行進)を実施した。また、次の日には、春の風を感じながら扇山登山を実施し、山頂までの道のりを仲間同士励まし合い全員が無事に登り終えた。

参加者は、「最初は、自衛隊は厳しく怖いイメージがあったが、隊員の皆さんは優しく話しやすかった。今回の体験を生かして今後の社会生活に役に立てたい。」と述べた。

この隊内生活体験を通じ、別府駐屯地に対する理解と認識を深めることができた。

曹友会活動



自衛官候補生 激励



大分地区合同由布岳清掃



あいさつ運動



レジャー学生 激励

別府駐屯地 公式Twitter



陸上自衛隊別府駐屯地 (公式)
@Camp_Beppu

陸上自衛隊別府駐屯地のツイッターです(*^o^*)別府駐屯地をたくさんの人達に知っていただくため駐屯地の活動(行事・訓練風景・隊員の様子等)を発信しています!!あわせて、別府駐屯地ホームページも絶賛更新中につき是非ご覧ください♪



開設1周年!!

令和3年4月でTwitter開設1周年をむかえました。この1年、沢山の「いいね」「フォロー」ありがとうございました。今後も、陸上自衛隊別府駐屯地Twitterをお願いいたします。

駐屯地モニター



小井手浩美 様



恵良 寧 様



永野俊玲 様



石田沙織 様



藤沢義隆 様

防衛モニター



後藤陽子 様



園田 正 様



江藤大悟 様

令和3年度 防衛・駐屯地モニター紹介

令和3年4月11日(日)、別府駐屯地において防衛・駐屯地モニター委嘱式を挙行し、今年度は7名の方々が新しく委嘱されることとなった。

防衛・駐屯地モニター制度とは、防衛問題、自衛隊及び別府駐屯地の隊務運営に関わる意見や要望等を駐屯地周辺に居住する方々から聴取し、今後の諸施策に反映するとともに自衛隊と地域社会との一体化を図る事を目的としている。選考方法として防衛モニターは陸上幕僚監部にて公募し決定しており、駐屯地モニターにおいては別府駐屯地の選考により決定してまいります。

委嘱された各モニターの方々は今後、訓練研修や各種駐屯地行事に参加し別府駐屯地に対する理解を深めて頂くこととなる。

防衛・駐屯地モニター委嘱式